

ユニットリーダー プレ研修
カリキュラム細則

目次

I ユニットケアの理念と意義	1
I-① ユニットケアとは.....	2
I-② ユニットケアの理念と考え方.....	3
I-③ ユニットケア導入の意義.....	4
I-④ ユニットケア導入の過程.....	5
II 高齢者の生活とその環境	6
II-① 住まいとは	7
II-② ユニット型施設の構造の基本原則	8
II-③ ユニットの構成	9
II-④ セミパブリックスペースとパブリックスペースの活用	10
III ユニットケアの具体的方法	11
III-① 1日の生活を知る.....	12
III-② 朝の時間	13
III-③ 食事	14
III-④ 入浴	15
III-⑤ 日中・夜間の過ごし方	16

区分 : I ユニットケアの理念と意義

ねらい :

- ・ ユニットケアの理念と考え方を学び、利用者、職員及び家族等にとってのユニットケア導入の意義を考える。また、実地研修施設について、ユニットケアの導入から現在に至るまでの経緯や運営上の工夫及び課題等、継時的な観点から学ぶ。

到達目標:

- ・ ユニットケアの理念と考え方を理解する。
- ・ 利用者、職員及び家族等にとってのユニットケア導入の意義について理解する。
- ・ ユニットケアを導入した施設の事例をとおして、ユニットケア導入のプロセス、具体的な進め方について知る。
- ・ ユニットケア導入による変化、効果の実例を知る。

形式と時間配分: (事前学習) + 講義 (60分) + 動画視聴・演習 (60分)

講師要件: 豊富な現場経験を有するユニットリーダー経験者及び施設管理者等

内容:

項目	内容	教材等
① ユニットケアとは	<ul style="list-style-type: none">・ 施設とケアの変遷・ ユニットケアの特徴・ これからの入居者像	
② ユニットケアの理念と考え方	<ul style="list-style-type: none">・ ユニットケアの基本方針(33条)・ 個別ケアとは →ユニットケアは個別ケアのための手法のひとつであること・ ユニットケアのポイント(少人数ケア体制、居宅の生活の継続、1日の生活の支援)	
③ ユニットケア導入の意義	<ul style="list-style-type: none">・ 入居者にとってのユニットケアの意義・ 家族にとってのユニットケアの意義・ 職員にとってのユニットケアの意義	
④ ユニットケア導入の過程	<ul style="list-style-type: none">・ 導入事例に用いた導入プロセスの理解・ 導入による変化、効果	動画 ワークシート

ポイント:

- ・ ユニットケアという概念、基本理念、意義を正しく理解する。
- ・ ユニットケア導入のプロセスやその効果の具体的なイメージを持つ。
- ・ ユニットケアを行う施設で働くことのモチベーションを高める。

I-① ユニットケアとは

施設とケアの変遷	<ul style="list-style-type: none">・ 福祉事業の始まり(1874年 恤救規則)・ 老人福祉法制定(1963年)と養護老人ホーム・特別養護老人ホームの誕生・ 介護保険制度の導入(2000年)とユニット型施設の制度化(2005年)
ユニットケアの特徴	<ul style="list-style-type: none">・ 入居者一人一人の意思、人格の尊重・ 入居前生活と入居後の生活の連続性の確保・ 入居者の社会的な関係の構築と自律的な日常生活
これからの入居者像	<ul style="list-style-type: none">・ 入居者の重度化・ 認知症高齢者の増加

I-② ユニットケアの理念と考え方

ユニットケアの基本方針(33条)	<ul style="list-style-type: none">・ 特別養護老人ホームの設備及び運営に関する基準(平成11年3月31日厚生省令第46号)
個別ケアとは	<ul style="list-style-type: none">・ 個人の生活リズムやニーズに合わせたケアの提供・ 個別ケアのための手法のひとつとしてのユニットケア
ユニットケアのポイント	<ul style="list-style-type: none">・ 少人数ケア体制・ 居宅の生活の継続・ 1日の生活の支援

I-③ ユニットケア導入の意義

入居者にとってのユニットケアの意義	<ul style="list-style-type: none">・ 在宅生活の継続・ 自分らしい生活の回復と残存能力の活用
家族にとってのユニットケアの意義	<ul style="list-style-type: none">・ 訪問回数の増加・ 一緒に過ごす時間の増加・ 入居者と家族の新たなコミュニケーションの構築
職員にとってのユニットケアの意義	<ul style="list-style-type: none">・ 入居者一人一人を尊重するケア・ 入居者とともに作り上げる生活・ 職員のストレス

I-④ ユニットケア導入の過程

導入事例に用いた 導入プロセスの理解	<ul style="list-style-type: none">・ ユニットケアを実践するための環境づくり(ハード)・ 暮らしのサポート(ソフト)・ 施設運営の中での仕組みづくり(システム化)
導入による変化、効果	<ul style="list-style-type: none">・ 入居者にとっての効果・ 家族にとっての効果・ 職員にとっての効果

区分 : II 高齢者の生活とその環境

ねらい : 高齢者の生活を支える環境の重要性について理解し、入居前の生活の継続性に配慮した環境づくりについて学ぶ。

到達目標 :
・ 高齢者の生活を支える環境やその整備における留意点(入居前の生活の継続性等を含む)について理解する。
・ 居住空間の種類と構成及びその機能について学ぶ。家庭的な雰囲気や、心理的な安定が得られるなじみの環境、快適な環境づくりについて理解する。

時間と形式 : (事前学習) + 講義(60分)

講師要件 : 豊富な現場経験を有するユニットリーダー経験者及び施設管理者等

内容 :

項目	内容	教材等
① 住まいとは	<ul style="list-style-type: none">入居者にとっての「住まい」とは施設が住まいであるために	
② ユニット型施設の構造の基本原則	<ul style="list-style-type: none">ユニット型施設の構成プライベートスペース、セミプライベートスペースセミパブリックスペース、パブリックスペース	写真・動画
③ ユニットの構成	<ul style="list-style-type: none">ユニット構成の考え方玄関、個室、洗面台、トイレ、リビング、浴室、脱衣室	写真・動画
④ セミパブリックスペースとパブリックスペースの活用	<ul style="list-style-type: none">セミパブリックスペースの機能パブリックスペースの機能暮らしを豊かにするための活用方法	ワークシート

ポイント :
・ 生活における環境の重要性について理解する。
・ 生活の場としてのユニット型施設の構成と機能について理解し、有効に活用するための基礎知識とする。

Ⅱ-① 住まいとは

入居者にとっての「住まい」とは	<ul style="list-style-type: none">・ 高齢者施設に入居する前の高齢者の居宅での暮らしぶりや、家族・友人、地域社会等との関わり・ 居宅での暮らしを通じ、高齢者が心理的・精神的な安定・安心や充足感を得ていることを解説する。
施設が住まいであるために	<ul style="list-style-type: none">・ 高齢者施設に入居後も、できる限り居宅での暮らしに近い環境を維持していくことの重要性・ 居宅での生活と施設での生活を連続させる「ユニットケア」という考え方・ ユニットケアを実現するためのハードウェアを備えた施設が「ユニット型施設」であること・ 「ユニット型指定介護老人福祉施設の基本方針並びに設備及び運営に関する基準」の基本方針 <div data-bbox="491 869 1353 1160" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"><p>第三十九条 ユニット型指定介護老人福祉施設は、入居者一人一人の意思及び人格を尊重し、施設サービス計画に基づき、その<u>居宅における生活への復帰を念頭に置いて、入居前の居宅における生活と入居後の生活が連続したものとなるよう配慮しながら、各ユニットにおいて入居者が相互に社会的関係を築き、自律的な日常生活を営むことを支援しなければならない。</u></p></div>

II-② ユニット型施設の構造の基本原則

<p>ユニット型施設の構成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ユニット型施設の構成(プライベートスペース、セミプライベートスペース、セミパブリックスペース、パブリックスペース) <p>【居室のタイプ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ ユニット型個室 ユニット型準個室 従来型個室 多床室 (プライバシー配慮型多床室含む) <p>(居室の配置例)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>【従来型】</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>【ユニットケア型】</p> </div> </div> <p>(出所)厚生労働省「2015年の高齢者介護～高齢者の尊厳を支えるケアの確立に向けて～」</p>
<p>プライベートスペース、セミプライベートスペース</p>	<ul style="list-style-type: none"> プライベートスペース、セミプライベートスペースとは(事例紹介)
<p>セミパブリックスペース、パブリックスペース</p>	<ul style="list-style-type: none"> セミパブリックスペース、パブリックスペースとは(事例紹介)

Ⅱ-③ ユニットの構成

ユニット構成の考え方	<ul style="list-style-type: none">・ ユニット型施設が4つの空間(プライベートスペース、セミプライベートスペース、セミパブリックスペース、パブリックスペース)から構成される理由・意義・ ユニット型施設が入居者の生活や介護スタッフのケアに及ぼす影響 <p>【参考】(財)医療経済研究機構「介護保険施設における個室化とユニットケアに関する研究報告書」(2000年)、「普及期における介護保険施設の個室化とユニットケアに関する研究報告書」(2001年)</p> <ul style="list-style-type: none">➤ 入居者のベッド滞在率の減少、リビング滞在率の増加、食事量の増加等➤ 介護スタッフの居室・廊下滞在時間の減少、リビング滞在時間の増加、直接介助時間の減少、余暇・交流時間の増加
玄関、個室、洗面台、トイレ、リビング、浴室、脱衣室	<ul style="list-style-type: none">・ ユニット型施設におけるプライベートスペース、セミプライベートスペース(玄関、個室、洗面台、トイレ、リビング、浴室、脱衣室)の事例と機能・ 居宅に近い環境とするために工夫している点

Ⅱ-④ セミパブリックスペースとパブリックスペースの活用

セミパブリックスペースの機能	<ul style="list-style-type: none">・ セミパブリックスペース(ユニット間交流スペース)の機能・ セミパブリックスペースの活用事例
パブリックスペースの機能	<ul style="list-style-type: none">・ パブリックスペース(地域交流スペース)の機能・ パブリックスペースの活用事例
暮らしを豊かにするための活用方法	<ul style="list-style-type: none">・ 高齢者の暮らしをより豊かにするためのセミパブリックスペース、パブリックスペースの活用

区分 : Ⅲ ユニットケアの具体的方法

ねらい : 高齢者が自律的に生活できるようにサポートするためのポイントについて学ぶ。

到達目標:

- ・ 食事、入浴、コミュニケーションのとり方等の具体的な生活の流れにそって、場面ごとの事例を通してユニットケアの具体的な方法について学ぶ。
- ・ 自施設における入居者の1日の生活の流れを、事例と比較して、どうあるべきかを検討する。

時間と形式: (事前学習) + 講義(60分) + 演習(60分)

講師要件: 豊富な現場経験を有するユニットリーダー経験者及び施設管理者等

内容:

項目	内容	教材等
① 1日の暮らしを知る	<ul style="list-style-type: none">・ 1日の生活を知ることの意義・ 1日の記録の活用方法	事例 ワークシート
② 朝の時間	<ul style="list-style-type: none">・ ユニットケアにおける起床、着替え、口腔ケア、排せつ、健康管理	動画
③ 食事	<ul style="list-style-type: none">・ ユニットケアにおける食事・ (作る)、盛り付ける、食べる、片付ける	動画
④ 入浴	<ul style="list-style-type: none">・ ユニットケアにおける入浴ケアと職員の体制・ プライバシーへの配慮・ 浴室・脱衣所の環境	動画
⑤ 日中・夜間の過ごし方	<ul style="list-style-type: none">・ 行事、レクリエーション、外出・ 他の入居者との関わり・ ボランティア、地域との関わり・ 家族との関わり・ リハビリ・ 就寝ケア・ 終末期	動画 事例 ワークシート

ポイント:

- ・ ユニットケア施設における一日の生活の支援において基本となる重要な考え方を理解し、具体的な内容について、イメージを持つ。
- ・ ユニットケア施設において、ケアを行うことに対するモチベーションを高める。

Ⅲ-① 1日の生活を知る

1日の生活を知ることの意義	<ul style="list-style-type: none">・ 一人一人の入居者の1日(24時間)の生活の営みを支援するために、1日の生活リズムについて具体的に知る必要性と重要性・ 把握した情報に基づく計画の立案とケアへの活用・ 1日の生活を知ることの効果
1日の記録の活用方法	<ul style="list-style-type: none">・ 1日の生活リズムを把握する方法とツール(生活リズム、意向・好み、自分でできること、サポートが必要なことなどを時間軸に沿って整理する)・ 情報収集と整理・ 保管と共有・ 計画への反映・ ケアの実践・ モニタリング、評価

Ⅲ-② 朝の時間

起床	<ul style="list-style-type: none">・ 一人一人の入居者の生活リズムの尊重・ 生活パターンの把握と状況による判断
着替え	<ul style="list-style-type: none">・ 入居者のペースや習慣、意思の尊重・ 着替えを行う場所とタイミング
口腔ケア	<ul style="list-style-type: none">・ 口腔ケアの重要性・ 入居者のペース、タイミングの尊重・ 専門職との連携
排せつ	<ul style="list-style-type: none">・ 生活リズムの把握とパターンに合わせた排泄ケア・ 尊厳、羞恥心、プライバシーへの配慮
健康管理	<ul style="list-style-type: none">・ バイタル測定の意義・ 施設におけるルールに沿った測定と記録・ 医療職への情報伝達

Ⅲ-③ 食事

ユニットケアにおける食事の考え方	<ul style="list-style-type: none">・ 生活における食事の意味・ 入居者にとっての食事の意味・ 入居者の生活リズムや好みの尊重・ 朝食、昼食、夕食の留意点・ 食事を通して入居者の状況を把握する視点
(作る)	<ul style="list-style-type: none">・ 誰がどこでつくるか・ 入居者ひとりひとりに合わせた食事
盛り付ける	<ul style="list-style-type: none">・ 入居者に応じた適量の把握・ 食器
食べる	<ul style="list-style-type: none">・ 食事の場所・ 食事の姿勢・ 家族からの差し入れ・ 治療食
片付ける	<ul style="list-style-type: none">・ 下膳のタイミング・ 食器を洗う

Ⅲ-④ 入浴

ユニットケアにおける入浴ケア都職員体制	<ul style="list-style-type: none">・ 生活リズムに沿った入浴時間と入浴方法・ ユニットケアにおける入浴のあり方と運用
プライバシーへの拝領	<ul style="list-style-type: none">・ 尊厳、羞恥心、プライバシーへの配慮
浴室・脱衣所の環境	<ul style="list-style-type: none">・ 浴室の場所、形状と配置・ 脱衣所の環境

Ⅲ-⑤ 日中・夜間の過ごし方

行事、レクリエーション、外出	<ul style="list-style-type: none"> ・ 個別性を重視した活動 ・ 希望に沿った外出ケア
他の入居者との関わり	<ul style="list-style-type: none"> ・ ユニットの中の他の入居者との関わり
ボランティア、地域との関わり	<ul style="list-style-type: none"> ・ ボランティアや地域との関わりの重要性 ・ ボランティア受け入れ体制の整備 ・ 地域活動への協力
家族との関わり	<ul style="list-style-type: none"> ・ 家族との関わりの意義 ・ 家族とのコミュニケーションとコミュニティの形成 ・ 対応窓口
リハビリテーション	<ul style="list-style-type: none"> ・ リハビリテーションの意義 ・ 専門職との連携 ・ 生活リハビリの活用
就寝ケア	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生活リズムの尊重 ・ 夜間の見守り ・ 緊急時の対応
終末期	<ul style="list-style-type: none"> ・ 終末期を支える際のユニットケアの意味 ・ 入居者、家族の意向の尊重